

現代文B

--	--	--	--

教科	国語	単位数	3単位	学科・学年・コース・組	特進クラス 3年
使用教科書	東京書籍「新編現代文B」(現B321)				
副教材等	「現代語練習帳 ことのは」(いづな書店)、「最新国語便覧」(浜島書店) 国語辞典、漢和辞典				

1 学習の到達目標

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む。)

月	時数	単元名	教材 ※は備考	主な学習の領域	主な学習活動(指導内容)	言語活動	主な評価方法
4	9	2 評論 1	最初のペンギン	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>「有限の立場」とはどのような立場かを理解する。(手引き2)</li> <li>「最初のペンギン」という言葉の意味と筆者の言う「創造的な人間」の意味を正確に捉えて、両者の共通点を理解する。(手引き4)</li> <li>不確実な現代において、われわれはどのようにして判断や行動をしていけばいいかを理解する。(手引き5)</li> </ul>	科学文明、機械文明が発達した現代において、当然のようであるものがどのように開発、発展してきたかを調べ、そのものの存在意義をまとめて、発表する。	授業の取組の様子
5	12	2 小説 1	山月記	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>主人公李徴の発言によって、小説が構成されていることを理解する。(手引き1, 2)</li> <li>前半部で語られる李徴の状況と人間像を理解する。また、虎に変身する過程とその時の李徴の心理変化を理解する。(手引き3, 4)</li> <li>李徴が袁愼に依頼したことを理解する。(手引き5)</li> <li>李徴自身の気がついた、虎に変身しなければならなかった理由を理解する。(手引き6)</li> <li>作者がこの小説で語りたかったことを理解する。(手引き6)</li> </ul>	李徴の生き方についての意見を文章にまとめて、お互いに発表する。	授業の取組の様子
		創作の楽しさ	意見文の書き方	書く 話す	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマを設定し、情報を集め、それを整理して文章にまとめる手順をとらえる。</li> <li>客観的事実と自分の意見を区別して意見を述べる。</li> </ul>	発表する	授業の取組の様子 意見文
6	12	3 随想	カフェの開店準備	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごく平凡な日常生活に対する筆者の観察の細かさを、自分の体験と比較して理解する。(手引き1)</li> <li>「目的」と「行為」という言葉に対する、筆者の考えを理解する。(手引き2)</li> <li>「行為が習慣化したとたん、その行為の源にある生命力は死ぬ。」という言葉の意味を理解し、筆者の「私たちの生」に関する考えを理解する。(手引き3)</li> </ul>	筆者の考える「生」を自分の日常の中で捉えて、どのようなことが言えるかをまとめる。	授業の取組の様子 鑑賞文
		4 詩歌	竹 永訣の朝 一日の長さ	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>詩の基本的な読み方を習得する。</li> <li>詩の情景、心情などを表現に即して読み味わう。</li> <li>さまざまな詩歌に接して、多様な表現を深く味わう。</li> </ul>	鑑賞文を作成しグループで発表しあう。	授業の取組の様子
7	10	5 評論 2	言葉は世界を切り分ける	読む	<ul style="list-style-type: none"> <li>「外国語では言葉を自在に使ってコミュニケーションを取ることには難しい」のはなぜかを理解する。(手引き1)</li> <li>「面」としての意味について、色の例ではどのように説明しているか理解する。(手引き2)</li> <li>「異なる言語は世界を異なる仕方で分節する」とはどのようなことか理解する。</li> <li>本文の内容を踏まえて、言葉の働きについて考えたことをまとめる。</li> </ul>	自分の考察を深めて意見をまとめる。	授業の取組の様子
8	1	期末考査					

9	12	4 詩歌	春雷【俳句】	読む	・俳句独自の特徴を理解し、近代俳句・現代俳句に関心を持つ。 ・それぞれの短歌に詠まれた情景を読み取ると同時に、そこに込められた作者の思いや感動を理解する。	グループで鑑賞文を作り発表する。	授業の取組の様子
		5 評論 2	もう一つの知性	読む	・「物知り」「情報通」であることと、「知性」とは「別物だ」とあるが、筆者はどのように違っていると述べているか考える。(手引き2) ・「現在のようにってしまった」とあるが、どのようにってしまったというのか読み取る。(手引き3) ・「身体感覚をとおした知のあり方」とはどのような知のあり方か読み取る。(手引き4) ・筆者がこの文章でいたいことを簡潔にまとめる。(手引き5)	本文に述べられている筆者の意見についてどう考えるか、文章にまとめ、互いに読み合う。	授業の取組の様子
10	12	6 小説 2	鞆 ◆小説の楽しみ④ …不条理の文学	読む	・「私」と「青年」のセリフに注意して、物語の展開を理解する。(手引き1) ・「私」が「青年」と青年の「鞆」に対して持っている疑念を理解する。(手引き2) ・「青年」にとっての「鞆」はどのようなものかを理解する。(手引き3) ・行く道を束縛されながらも自由だという真理を理解する。(手引き4, 5)	小説の暗示性とストーリーのおもしろさを読み取り、それを紹介する文章を書く。	授業の取組の様子
		中間考査					
11	12	6 評論 2	ホンモノのおカネの作り方 ◆言葉の扉④…現代の敬語表現	読む	・「ニセガネとは『似せ』ガネなのである。」と筆者が言う意味を理解する。(手引き1) ・「預かり手形」が本物のお金と同等に扱われるようになる過程と理由を理解する。(手引き2) ・「ニセガネ」と「預かり手形」の違いを理解する。(手引き3, 4) ・お金の本来の意味と「預かり手形」が現代の経済の仕組みにつながる過程を理解する。(手引き5)	自分の考えを人に納得させるために必要な論理的な発信の方法を理解する。	授業の取組の様子
		8 小説 3	葉桜と魔笛	読む	・この小説の冒頭部と最後の部分から、この小説の構成を理解すると同時に、情景の展開も理解する。(手引き1) ・「私」の言動をもとにして、「私」の心理を理解する。(手引き2, 3) ・「葉桜」が示す季節と「魔笛」がこの小説で果たしている役割を理解する。(手引き5)	作者が自分の思いをどのような形で小説という作品にまとめているかを理解し発表する。	授業の取組の様子 発表
12	10	7 評論 3	未来のありか	読む	・「未来の事物の予想や創造のありかが、社会生活の中で『私の心』にとどまらない広がりを持ちうる」とはどのようなことか理解する。(手引き2) ・「答辞の未来y走が半ば現実化し、半ば外れたのだという、あたりまえのことが言いたいのではない。」とあるが、筆者は日本万博博覧会の話で、どのようなことを述べたのか読み取る。(手引き4)	本文を読んで、興味を持ったことについて課題を設定し、調べて発表する。	授業の取組の様子 授業の取組の様子
		年末考査		※「ことのは」	書く	・漢検3級レベル以上の漢字を習得し、基礎語彙力の充実を図る。	
2	5	まとめ	感想文	話す 書く	・1年間を振り返り、学習のまとめとして感想文を書く。 ・文章に表れたものの見方や考え方によって学んだことを振り返る。	文章を読み合う。	授業の取組の様子

### 3 課題・提出物等

- ・各単元において、学習プリントやレポート等を提出してもらいます。また、ノートや感想文、「相互評価表」なども提出してもらいます。その都度、先生から指示がありますので、よく聞いて提出期限の日までに提出してください。
- ・六月の「弁論大会」に向けて意見文を書きます。具体的な取り組みは中間テスト後から始めます。日頃から新聞や読書を通して自分の考えを深め、表現できるようにしましょう。
- ・一、二学期の学期末に「漢字力テスト」を行います。テストの範囲は別途先生から連絡がありますから、計画的に学習しましょう。
- ・夏休みの課題として、読書感想文を提出してもらいます。具体的な要項は夏休み前までに連絡しますが、日ごろから読書に親しむ生活を心がけましょう。

#### 4 評価規準・評価方法

評価は次の5つの観点から行います。				
関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。
<p>これらの観点を踏まえ、各授業や単元ごとの具体的な評価方法としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業中の学習の様子（発表や討論の様子、学習活動への参加状況など）</li> <li>・ 「話す・聞く」や「書く」学習の際の発表や評価表</li> <li>・ 学習プリントやレポート、意見文、感想文などの提出物</li> <li>・ 週末課題の取り組み</li> <li>・ 年5回実施する定期テスト</li> </ul> <p>なお、1学期・2学期・年間の評定は、上記の評価に加えて、1・2学期の学期末に行う漢字書力テストの成績や定期テストの成績をもとに、総合的に判断します。</p>				

#### 5 担当者からのメッセージ

いよいよ高校生活最後の学年になりました。さて、国語科では、3年間の国語の授業を通じて、皆さんに、社会人として通用する「話す力・聞く力」や「書く力」、また「読む力」を付けることを学習の目標としてしています。

三年の「現代文」は二年で学習した「現代文」の内容を受け、引き続き、高等学校国語の発展的な内容を学ぶ科目です。内容的には、明治以降の「随想」や「小説」、「評論」、「詩」などを通じて、「読む力」を付けるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める学習をします。また、科目の目標を踏まえつつ、折に触れて様々な言語活動を行います。それらの活動を通して、皆さんに高校生としてふさわしい「話す力・聞く力」や「書く力」といった表現力を育成します。

卒業後も、豊かな言語生活を送れるよう、しっかり学習していきましょう。